

大阪・関西万博 「RITE未来の森」

RITEは 2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)に協賛し、万博会場内で大気中のCO₂を直接回収する技術(Direct Air Capture, DAC)の実証試験を行います。自然の森と同じように大気中のCO₂を回収することから、「RITE未来の森」と名づけました。DACは、無尽蔵にCO₂を回収できるポテンシャルがあること、CO₂貯留地点でCO₂を回収することができるなど多くのメリットがあり、ネガティブエミッション技術の核となる夢の技術です。

世界的な未来技術発信の場である万博を通じて、RITEが提案するこのDACを核としたネガティブエミッション技術を世界に発信し、子どもたちを始めとする多くの方へ地球温暖化対策への理解を深めて頂くことを目指します。

RITE未来の森 イメージ図



提供: 2025年日本国際博覧会協会

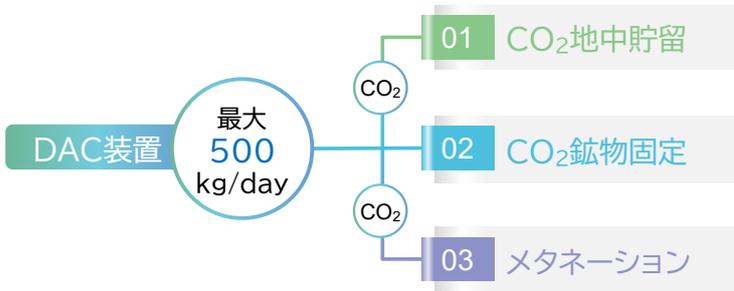
カーボンリサイクルファクトリー内「RITE未来の森」



RITE未来の森 イメージ図

ガイダンス施設

DAC装置



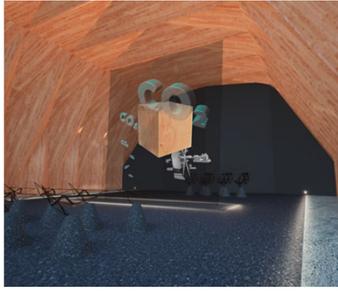
RITEが従来から推進しているCO₂地中貯留技術

CO₂を固定化したアスファルト・コンクリートをガイダンス施設の床面や見学通路の舗装に使用

隣接する大阪ガスのメタネーション装置へCO₂を供給、メタンを合成して都市ガスとして利用

RITE未来の森 展示イメージ

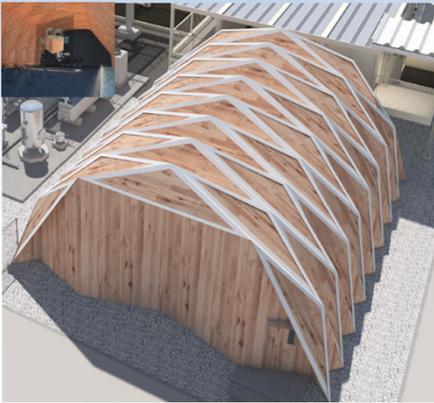
- ガイダンス施設内での3D映像によりネガティブエミッション技術の必要性、DAC技術やCO₂貯留技術・有効利用技術をストーリー立てて分かりやすく説明
- 実物のDAC装置や各種展示物により、地球温暖化対策の最新技術を紹介



皆さん、是非お越しください！！見学にあたっては、事前申し込みが必要です

大阪・関西万博「RITE未来の森」

CLT折版構造ガイドンス施設

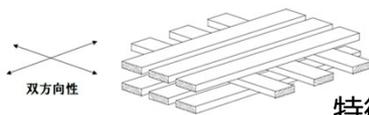


大阪・関西万博「RITE未来の森」のガイドンス施設は、未来の森にふさわしい木造建築を目指し、1枚の大きなCLTパネルを用いて、折り紙を折るような折版構造で建造されています。

CLT折版構造は、持続可能性とデザイン性を兼ね備えた現代的な建築手法として注目されています。

CLTとは

ひき板を繊維方向が直交するように積層接着したパネル



特徴: 双方向に対し強度がある

CLT折版構造のメリット

- ✓ 高強度・高剛性: 軽量でありながら、長いスパンを支える優れた強度
- ✓ 軽量で耐震性向上: 軽量化により地震時の揺れを軽減
- ✓ 設計の柔軟性と美観: 自由なデザインが可能で、温かみのある美しい空間を創出
- ✓ 環境に優しい材料: 持続可能な木材使用で、カーボンニュートラルを実現
- ✓ 施工の効率性: プレカット部材で迅速な施工とコスト削減
- ✓ 持続可能な建築: 環境負荷を低減し、資源を効率的に活用

ガイドンス施設施工状況 ハングアップ工法(4分割)



*なお、本ガイドンス施設の施工にあたり、林野庁補助事業（CLT活用建築物等実証事業）の助成金を頂いております。
本協議会メンバー（施工：前田建設工業、建築主：RITE、設計統括：乃村工藝社、構造設計：KAP、材料：銘建工業、監修：東京大学 腰原幹雄 教授）